

播磨・姫路

高校生「街の駅」 地域に防災伝え

山崎高校

生徒が積極的に防災教育に取り組んでいる山崎高校は、生活創造科が中心となって「山高街の駅」を行っている。

る。防災教育で学んだことを広めたり、生活創造科の生徒が作った和洋菓子を販売したりし、地域貢献の場であると同時に学校生活の息吹を市民に伝える場となっている。

26日、宍粟市山崎町中井のショッピングセンター「咲ランド」で開催。生活創造科の生徒と生徒会の役員ら約20人が参加した。生徒が作った「防災ガイドブック」を配布し、市民からいざという時のために「備蓄しておきたい非常食アンケート」を実施した。結果をまとめて校内で発表するという。生徒会の役員らは、咲ランドを訪れた子どもが楽しめるゲームを企画した。

山崎高校は、ぼうさい甲子園で2年連続入賞している。街の駅は年5、6回行っている。

【田畑知之】